

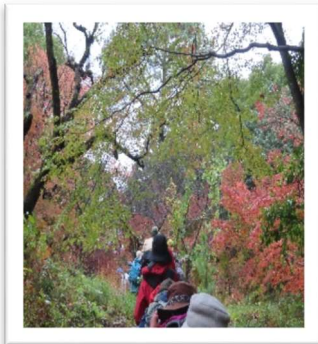


## 参道を彩る紅葉のトンネル 結びの杜 宝満宮竈門神社 (太宰府市)

紅葉のベストシーズン、西鉄太宰府駅から竈門神社まで紅葉を愛でながら自然観察を楽しみました。今回の参加者は23名、スタッフを含め総勢26名です。

まずは重要文化財「本殿」が改修中の太宰府天満宮にお参りし、「仮殿」の屋根に設けた3年期間限定の「森」を眺めました。「森」は境内の植生を再現している様子です。次に観光客の間をすりぬけながら、国の天然記念物のクスノキとヒロハチシャノキを観察しました。

境内の奥に位置するシャクナゲの五家荘園から尾根道が始まり、九州最古のお稲荷さん「天開稲荷社」に道が続きます。稲荷社の奥の院は古墳跡でパワースポットです。ご利益があるそうで(?)参加者の皆さんも何事かお願いしていました。



尾根道の桜並木を越えると、色づき始めたオオモミジやイタヤカエデのトンネルになります。足元に目を向けると可憐なキッコウハグマの白い花が微笑み、スマホの列が



できました。見かけが少々不気味なツチグリ

も発見。柔らかな子実体を指で押すとシュワッと胞子が飛び出します。尾根道では、コシアブラやシラカシ、スダジイやナナミノキが観察できました。



尾根道が終わると竈門神社への里道が始まります。クロチクに稲穂のような花が咲いています。数10年から120年の周期で開花すると言われますが、最近是全国的に開花の報告があるそうです。

里道ではコシロノセンダングサの群生や赤いカラスウリの実がたくさん観られました。民家の庭先に牧野博士が和名をつけた「シャクチリソバ(赤地利蕎麦)」が三角形の実をつけていました。この先の角を曲がると竈門神社の駐車場。「ここに出るのね～」と驚きの声があがりました。

時折雨が降る天候でしたが、昼食時は晴れ間がのぞき、お昼の時間を利用して「太宰府検定プラス2」クイズに挑戦。豪華賞品をかけて解答していただきました。

昼食後は、清少納言の父清原元輔の歌碑まで歩き、まほろば号の停留所に向かいました。



紅葉のピークはまだ少し先で、紅葉のトンネルとはなりませんでした。太宰府の特別なコースを楽しんでいただきました。

スタッフ 薛、常藤(報告)